

## モンゴルの工場で火災- 西日本防災システム

2013 01 17

2013年1月17日 中国・内モンゴル自治区通遼市奈曼旗大沁他拉鎮の化学工業団地の工場で火災が発生しました。フォークリフトの運転手の誤操作で、移動中のオイル缶から発火したことが原因だったようです。死傷者はありませんでした。

火災は1月17日午前11時20分頃に発生しました。消防車16台、消防士77人が駆け付け、消火活動を行ったそうです。鎮火が早かったため、工場内にあった貯蔵タンク6基、反応装置6基、缶詰テトラクロロシランは無事だったそうです。周辺の工場の従業員約500人が緊急避難し、LPGタンク7基が移動されたそうです。  
怪我をされた方などがいなくてほんとに良かったですね！  
ですが 誤操作が原因 というのは 気にかかる問題です。!

**トリクロロシラン**：ケイ素、塩素、水素から成る無機化合物で、高温で熱分解を起こして単体ケイ素に変わる性質から、半導体工業において高純度ケイ素の主原料として利用されています。



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ 